

くらしサポート歩行車 スムーディ〈買物用〉	PN-L70101
-----------------------	-----------



- 本書は、製品を貸出福祉用具としてご使用いただくうえで、製品の点検や整備および検査など、メンテナンス作業を実施する上でのマニュアルです。
- 修理や部品交換の手順に関しては、製品サービスガイドをご参照ください。

特徴

発売年月

令和 5 年 8 月

散歩からショッピングまで地域での暮らしを広げるスムーディ〈買物用〉 カウサポ

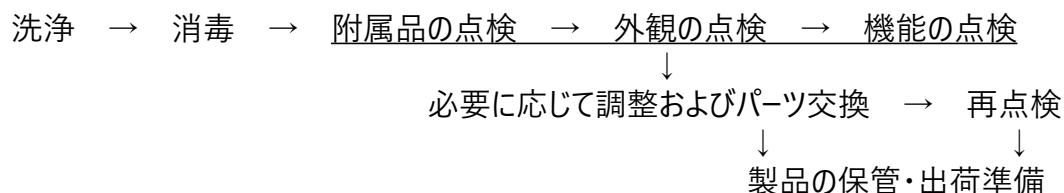
目次

製品の取り扱いの留意点	: 2	ブレーキ調整	: 14
点検・修理の必要工具	: 2	保管方法	: 15
商品の構成部品・名称	: 3	メンテナンス チェックシート	: 16
<u>洗浄方法</u>	: 4	部品展開図と部品表	: 17
<u>附属品と外観</u>	: 6		
<u>機能の点検</u>	: 10		

メンテナンス作業の留意点

このメンテナンスマニュアルをよくお読みいただき、十分ご理解の上、作業を進めてください。
なお、誤った交換などによるトラブルなどについては弊社は保証いたしかねます。

メンテナンス作業を行う際には、メンテナンスチェックシート（P 1 6）をご活用ください。
メンテナンス中に異常が見つかった場合は、交換部品を取り寄せて補修いただいた上で、
再度メンテナンスチェックシートにて確認してください。



メンテナンス、修理、部品交換に関連資料

- ・取扱説明書（製品に附属）
- ・メンテナンスマニュアル（本書）
- ・メンテナンスチェックシート（本書）
- ・サービスガイド

点検・部品交換の必要工具



スパナ

7mm、8mm
10mm(×2本)、17mm



六角レンチ

2mm、2.5mm、3mm
4mm、5mm



トルクレンチ
トルクドライバー



手袋



プラスドライバー



柔らかい布



ペンチ



無水エタノール



カッターナイフ



プラスチックハンマー

※推奨締結トルク

M 4 : 1. 5 N・m

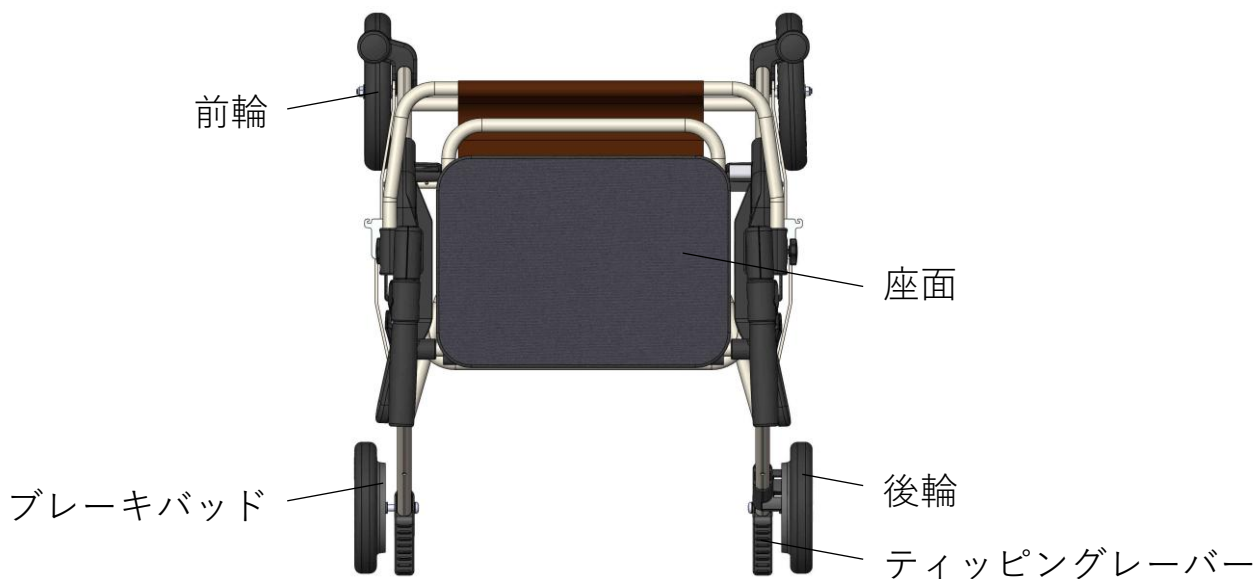
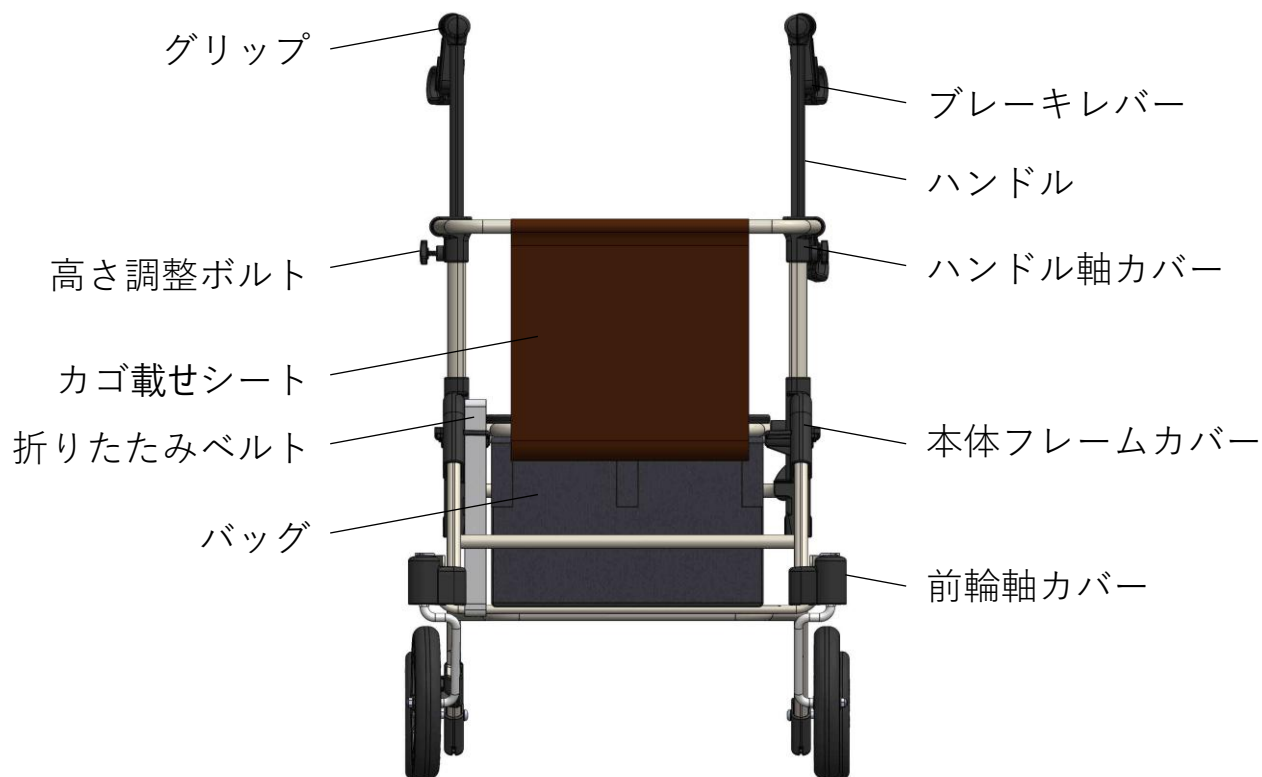
M 5 : 2. 0 N・m

M 6 : 2. 0 N・m

M 8 : 1 0. 0 N・m

M 1 0 : 2 0. 0 N・m

商品の構成部品・名称



洗浄方法

1. はじめに

消毒前に、必ず洗浄し汚れを落としてください。

汚れを落とさず、消毒すると消毒後に汚れから雑菌が繁殖する恐れがあります。

■洗浄液について

- ・できるだけ中性洗剤をご使用ください。
- ・オレンジクリーナーなどアルカリ性洗剤は、ウレタンやゴム類の脱脂効果が強いいため、使用した場合は、すぐに洗剤成分を洗い流してください。



2. 洗浄の注意点

【清拭】

原則、お手入れは清拭してください。

本製品は洗浄を繰り返すと、フレームの錆びやプラスチックおよびゴム部品の劣化が早まりますので、できるだけ長くお使いいただくために、以下の方法で洗浄する場合は、十分にご注意ください。

【高圧洗浄機】

バッグやシート、ラベルに高圧の水が掛かると、キズや剥がれの原因となります。

洗浄ノズルを近い位置から当てる、長時間連続して当てるなどを避けて洗浄してください。

マジックリンなど中性洗剤以外で洗浄する場合、部品内部などに洗剤成分が残らないように水洗いを行い、エアブローやふき取りを十分に行ってください。

禁止：シンナー・ベンジンなど揮発性の溶剤、みがき粉は使用しないでください。

【自動洗浄機】

専用の設備で洗浄する場合、取り外しが必要な部品や部品の固定方法など、あらかじめ洗浄テストを行うようにしてください。

【高温水による使用】

部品に当てる温度を60度以下になるようにしてください。

温度が高すぎると、部品類の劣化が早まり破損する恐れがあります。

10分以上の長い時間、高温水触れないようにしてください。

洗浄方法

3. 洗浄ポイント

前輪、後輪およびティップングレバーなど、脚回りには汚れが溜まりやすいです。
小さなすき間や各部ネジ取り付け箇所など樹脂ブラシなどを用いると洗浄しやすいです。

フレームに付着した汚れ落としにメラミンスポンジを使用する場合、強く擦りすぎると塗装剥げの原因となるため、十分に注意して洗浄してください。

バッグ、シート類は取り外すことが可能です。

取り外して個別に洗浄できますが、ウレタンやPP板を使用していますので、洗濯機などを使用した洗浄は避けてください。



座面内部にウレタン
を使用



背当て部にウレタン
を使用



底板にPP材を使用

4. 洗浄水の乾燥

洗浄後は、パイプ内部に水が残っていないか、製品を傾けて確認してください。
洗浄によってパイプ内に水が入り込んだ水分は、エアブローやふき取りにより、水滴をある程度飛ばしたうえで、乾燥するようにしてください。

前輪カスター部の樹脂カバーされた部分は、洗浄水が抜けにくい構造となっています。

写真の樹脂カバーの切り欠き部からエアブローすることによって内部の洗浄水を抜くことが可能です。

乾燥前にエアブローを行い、水滴を飛ばしてください。



附属品の点検

【取扱説明書】

1. 取扱説明書の有無

取扱説明書の有無を確認してください。

※取扱説明書は、弊社ホームページからダウンロードすることが可能です。

2. 取扱説明書の状態

取扱説明書に破れや汚れなど、目立った劣化がないか確認してください。



【バッグ】

1. 座面の下にバッグが取り付けられていることを確認してください。

2. 面ファスナーに破損がなく、面ファスナー同士が接着できていることを確認してください。

3. その他、バッグに破れやほつれがないことを確認してください。



【シート・座面】

1. カゴ載せシートの前面のロゴに破れやほつれがないことを確認してください。

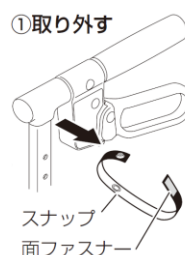
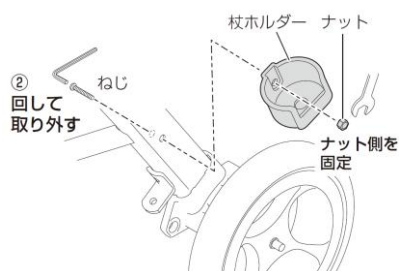
2. 座面の裏の品番表示等に破れやほつれがないことを確認してください。



【杖ホルダー・杖固定ベルト】

1. 杖ホルダー(左後フレーム)、杖固定ベルト(左グリップ)が取り付けられていることを確認してください。

2. 杖ホルダーにネジの緩み、破損がないことを確認してください。



外観の点検

【本体フレーム】

1. 本体フレームに欠けや深い傷がないか確認してください。
2. 本体フレームの塗装に剥がれがないか確認してください。

傷や塗装剥がれが目立つ場合は、「塗装用塗料」にて目立たないように補修してください。
(補修用塗料はタッチペンタイプとスプレータイプがあります。詳細はサービスガイドを参照ください)

3. フレームの溶接部に欠けやグラツキがないことを確認してください。
(必要に応じてカゴ載せシートや座面、バッグを取り外し、点検箇所を見やすくしてください。)

ハンドル部、前輪のにグラツキがある場合は、樹脂カバーを取り外し、フレームの溶接状態を点検してください。
溶接部にクラックや錆びが見られる場合は、交換・修理をしてください。

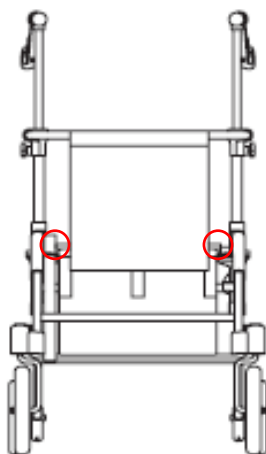
○ : 溶接確認

○ : グラツキ確認

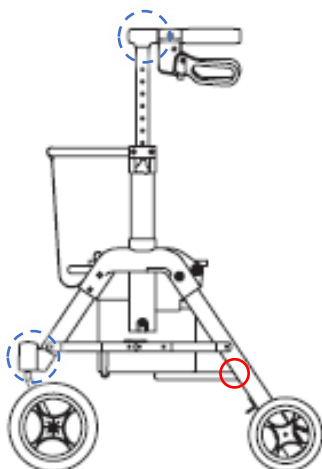
ハンドル部 :



前輪



座面受けフレーム



後輪部フレーム



外観の点検

【樹脂部品】

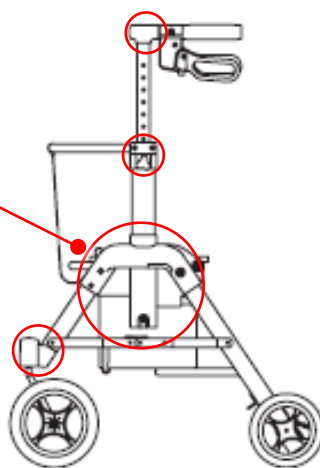
1. グリップに傷、バリ、割れがないか確認してください。

グリップに異常があるときは、グリップを交換してください。
(サービスガイドP 10を参照)



2. 各樹脂部品に傷、バリ、割れがないか確認してください。

各フレームを連結する中央の樹脂部品は交換できません。
傷、バリは補修可能ですが、割れがある場合は、本体交換となります。



【ネジ・ボルト】

1. 各樹脂部品のネジ・ボルトに不足がないか確認してください。
2. ネジ・ボルトにバリがないか確認してください。
3. ネジ・ボルト頭に塗装剥げがないか確認してください。

塗装剥がれが目立つ場合は、塗料にて目立たないように補修してください。
見た目だけでなく、ネジ・ボルトの錆び防止になります。

外観の点検

【バネ】

1. 折りたたみ補助バネ、ブレーキ制御バネに、外れや折れ、錆びがないか確認してください。
バネが伸びてバネにガタツキが生じていないか確認してください。

バネに異常がある場合は、バネ交換をしてください。

【折りたたみ補助バネ】

- － 折りたたみ部のピン部に折りたたみ補助バネのリング部分を取り付けます。
(取り付け時にはラジオペンチにてリング部分を広げ、取り付け、取り付け後には広げた部分を閉じます。)
- － フック部をラジオペンチで掴み、折りたたみ部の切り欠きに引っ掛けます。



バネ端部が上向きは危険！
下向きに付け直してください。

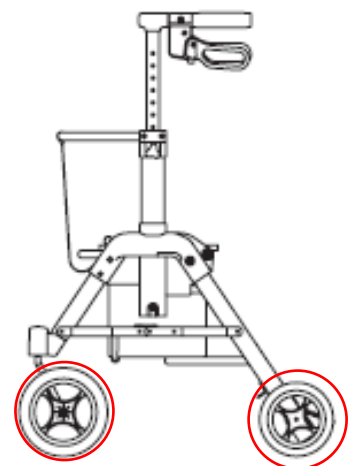
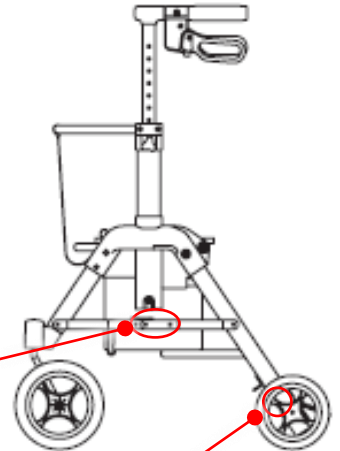
【ブレーキ制御バネ】

- － 後輪のブレーキ部樹脂の下部の切り欠きに、ブレーキ制御バネのフック部を引っ掛けます。
- － もう一方のフック部をラジオペンチで掴み、バネを引っ張りながらブレーキ部樹脂の穴に引っ掛けます。



②内側から外側に引っ掛ける

①端部を溝に引っ掛ける



【車輪】

1. タイヤの減り、けずれ、凹凸状態

交換推奨となる目安

：タイヤ表面の一部のみが削れ、走行中にガタガタとする。

機能の点検

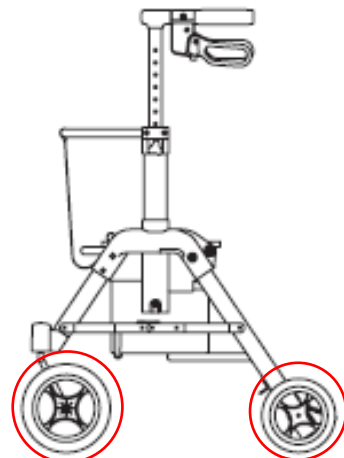
【前輪・後輪】

1. 前輪：車輪軸回転、タイヤ回転

本体を持ち上げた状態で、車輪軸がスムーズに回転することを確認。
タイヤがスムーズに回転することを確認。

2. 後輪：タイヤ回転

本体を持ち上げた状態で、タイヤがスムーズに回転することを確認。
※タイヤは、軽く回したときに、2回転程度すれば問題ありません。



車輪軸やタイヤの回転がスムーズでない場合、髪の毛や糸くずが絡まっているか確認してください。

髪の毛や糸くずが絡まっている場合、ピンセットなどで取り除くか、タイヤを取り外して清掃を行ってください。

機能の点検

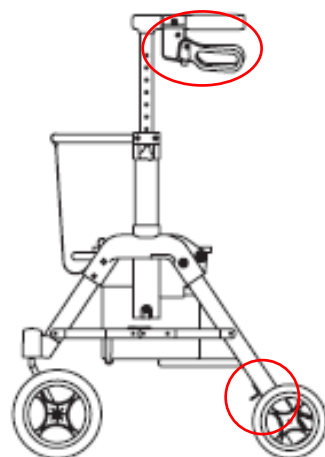
【駐車ブレーキ】

1. ブレーキレバーを下に押し下げたとき、後輪が回転しないことを確認してください。



駐車ブレーキ操作

制動ブレーキ操作



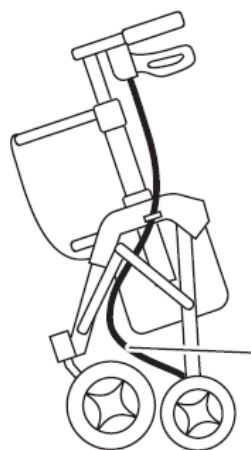
【ブレーキワイヤー、ブレーキパッド】

1. 折りたたみ補助バネ、ブレーキ制御バネに、外れや折れ、錆びがないか確認してください。
バネが伸びてバネにガタツキが生じていないか確認してください。

2. ブレーキワイヤーの通す位置が正しいか、確認してください。

通す位置に異常がある場合は、ブレーキホルダーからワイヤーを取り外し、正しい配置となるようにワイヤーを通してください。

3. ブレーキパッドに外れがないか確認してください。
ブレーキパッドがすり減り、溝がなくなっていないか確認してください。
制動ブレーキを掛けた際に滑る感触がある場合は、摩耗の可能性が高いです。



異常がある場合は、後輪を外して、ブレーキパッドの交換を行ってください。

機能の点検

【制動ブレーキ】

1. ハンドル高さを最大にしてください。

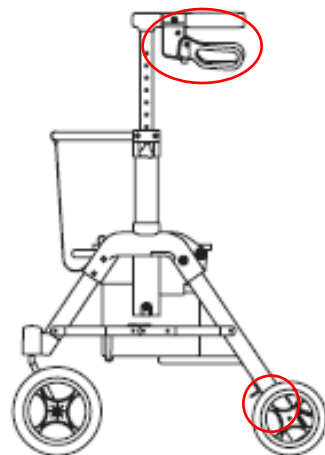
ハンドル高さによって、ブレーキの利き具合に差が生じます。

ハンドル高さが最大するとき、もっともブレーキが利きにくい条件となります。

2. グリップとブレーキレバーを握り、後輪の回転を確認してください。

ハンドルとブレーキレバーとの間が2cm未満でもブレーキの利き始めがない場合は、ブレーキの利きが小さい状態です。

ブレーキ調整（本書P 14）を行ってください。



3. ハンドル高さを最低にしてください。

ハンドル高さが最低するとき、もっともブレーキが利きやすい条件となります。

4. 後輪を回転させたとき、後輪がスムーズに回転しているか、擦れ音がしないか確認してください。

グリップとブレーキレバーを握り、後輪の回転を確認してください。

後輪がスムーズに回転しない、擦れ音がする場合は、ブレーキ調整（本書P 14）を行ってください。

【メンテナンスポイント】 ハンドル高さとブレーキ性能

- ・ハンドル高さによって、ブレーキの利き具合は変化します。
- ・ブレーキ調整する際は、調整時のハンドルの高さに注意してください。

	ハンドル高く設定	ハンドル低く設定
制動ブレーキの利き	利きにくい	利きやすい
ブレーキレバー操作力	軽い	重い
ブレーキパッドとタイヤとのすき間(標準寸法)	大きい(約4mm)	小さい(約3mm)

機能の点検

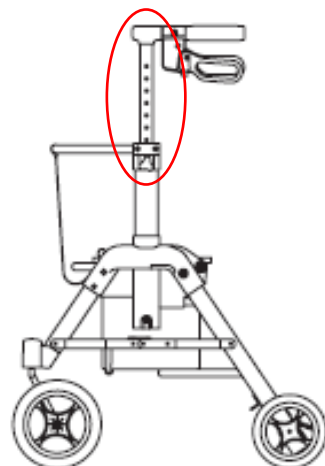
【ハンドル高さ調整】

1. ハンドル高さ摺動：高さ調整

ハンドル部のノブボルトを緩め、ハンドルの高さ調整がスムーズにできることを確認してください。

2. ノブボルト：ボルト固定

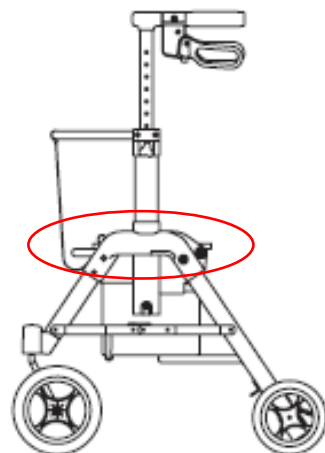
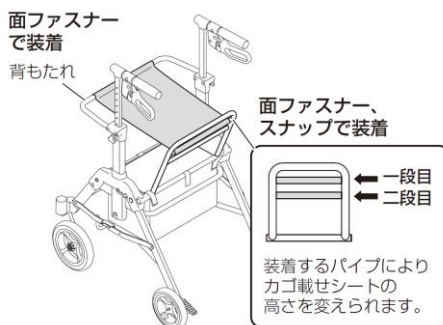
ハンドル部のノブボルトを締め、ハンドルがガタツキなく固定できることを確認してください。



【モード切替】

1. 座面を起こす、折りたたむの動作を行ったとき、異音がないことを確認してください。

※カゴ載せシートが二段目になっている場合は、一段目に戻してください。



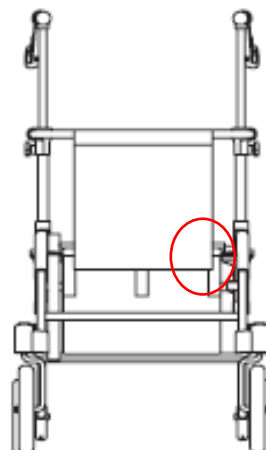
2. 座面の開閉

座面前のツマミを引上げ、座面の開閉を行ったとき、異音がないことを確認してください。

【折りたたみ】

1. グリップを片手で押しながら、折りたたみヒモを引上げたとき、本体が折りたたみできることを確認してください。

2. ブレーキレバーを握りながら、グリップを下に押し込んだ時、本体が展開できることを確認してください。



ブレーキ調整

【ブレーキの操作力を調整する】

1. 駐車ブレーキを解除してください。

2. ハンドル高さを最大にします。

3. アウターボルトを回し、アウターボルトがブレーキパッドから2~3mm離れた位置に調整してください。

アウターボルトはご利用者様にブレーキの利きを調整していただくため、固くも、ゆるくもできる位置に合わせるようにしてください。

4. 外側のボルトをスパナで固定しながら、内側の袋ナットをゆるめてください。

5. タイヤとブレーキパッドのすき間が約4mmとなるように高さを調整してください。

※タイヤとブレーキパッドの間に4mmのレンチなどを差し込みながら作業を行うと調整が容易に可能となります。

6. ブレーキワイヤーの先端部をペンチなどで掴み、下方へ引っ張ってください。

7. 外側ボルトを固定しながら、内側袋ナットを締めてください。

使用工具



10mm
× 2本
スパナ



ペンチ

アウターボルト

時計回り

ブレーキの利きが
ゆるくなります

反時計回り

ブレーキの利きが
固くなります



ブレーキ
ワイヤー

ボルト側を
固定

⑨ ボルトに通す

回して
固定

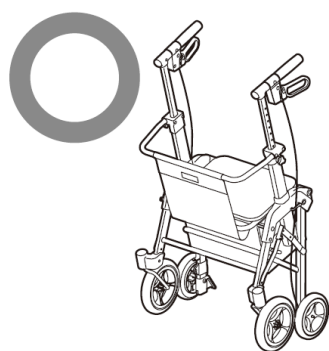
※調整後は、駐車ブレーキおよび制動ブレーキの機能の点検を実施してください。

ハンドル高さによって、ブレーキの利き具合は変化します。

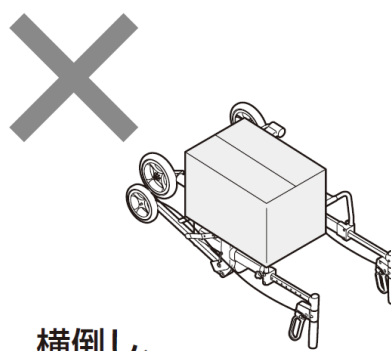
ブレーキ調整する際は、ハンドル高さを最大にして調整されることをお勧めします。(本書P12)

保管方法

1. 保管は直射日光の当たらない、湿気のない場所で保管してください。
2. 保管時には製品の横倒しにせず、立てて保管してください。



折りたたんで保管



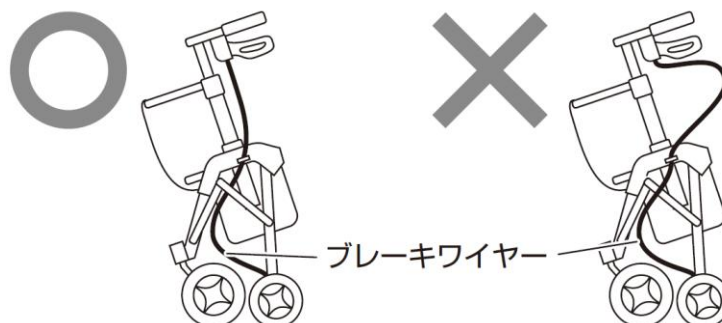
横倒し、
荷重をかけたまま保管

3. ブレーキワイヤーが折れ曲がるような状態では保管しないでください。

ハンドル高さが低い場合、製品を折りたたみ時にブレーキワイヤーの屈曲が小さくなってしまう場合があります。

正しいブレーキワイヤーの配置となるように戻してください。

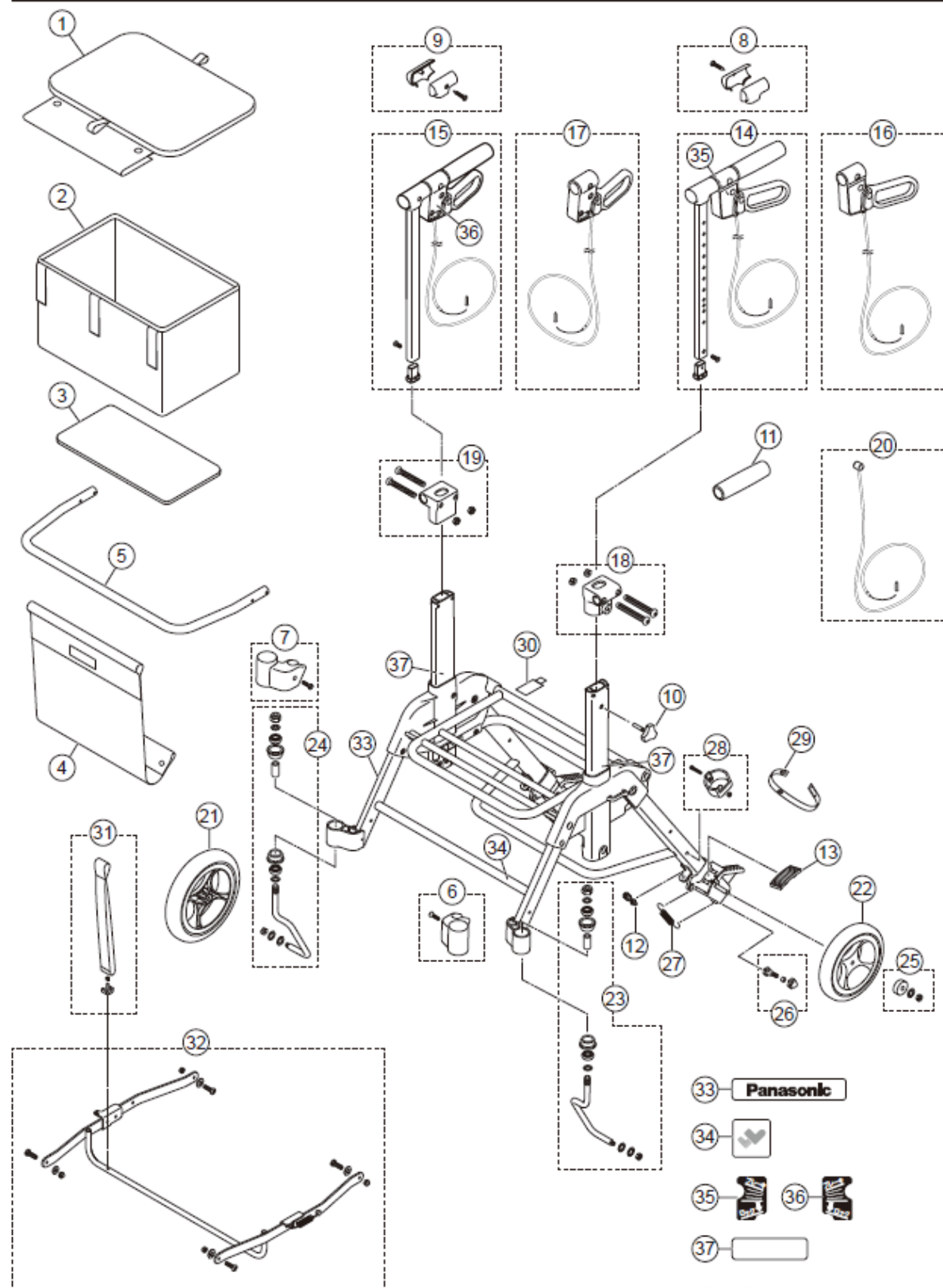
※ブレーキワイヤーの屈曲が小さい状態で長時間保管されると、ブレーキの操作力が変化してしまう恐れがあります。



メンテナンス チェックシート

NO.	項目		内容	結果	交換部品 メモ
1	洗浄		汚れが残っていないか。 清掃水が残っていないか。		
2	附属品		取扱説明書が附属されているか。 バッグが取り付けられているか。 シートが取り付けられているか。 杖ホルダーが取り付けられているか。 杖固定ベルトが取り付けられているか。		
3	外 観	フレーム	傷や塗装剥がれ、錆がないか。		
4		樹脂部品	割れや変形がないか。		
5		ネジ・ボルト・バネ	取り付け忘れや締め付け忘れがないか。 錆びが発生していないか。		
6		前輪・後輪	減り、けずれ、凹凸がないか。		
7	機 能	前輪・後輪	タイヤはスムーズに回転するか。		
8		駐車ブレーキ	後輪がロックできるか。		
9		制動ブレーキ	ワイヤーの通す位置は正しいか。 後輪がロックできるか。		
10		ハンドル高さ調整	高さ調整がスムーズにできるか。 ハンドルが固定されるか。		
11		モード切替	操作時に異音がないこと		
12		折りたたみ	折りたたみベルトで折りたためること 操作時に異音がないこと		

部品展開図



※前輪、後輪の展開図は左右対称です。

部品表

この価格に表示されている表示価格は消費税抜きです。

図面 番号	品名	ご注文品番	箱入数	希望小売価格 (税抜)	摘要・備考	1台 個数
1	座面	PN-L7010102P	1	5,500		1
2	バッグ	PN-L7010103P	1	3,700		1
3	バッグ底板	PN-L7010104P	1	900		1
4	カゴ載せシート	PN-L7010101P	1	3,300		1
5	背もたれパイプ	PN-L7010131P	1	2,200		1
6	キャスターカバー(L)	PN-L7010105P	1	800		1
7	キャスターカバー(R)	PN-L7010106P	1	800		1
8	ハンドルカバー(L)	PN-L7010107P	1	800		1
9	ハンドルカバー(R)	PN-L7010108P	1	800		1
10	高さ調節ボルト	PN-L7010109P	1	850	L/R共通	2
11	ハンドルグリップ	PN-L7010110P	1	1,750	L/R共通	2
12	ブレーキアウターボルト	PN-L7010111P	1	950		2
13	ブレーキパッド	PN-L7010112P	1	850	L/R共通	2
14	ハンドルユニット(L)	PN-L7010113P	1	4,500	ハンドルグリップ/ブ レーキユニット含む	1
15	ハンドルユニット(R)	PN-L7010114P	1	4,500	ハンドルグリップ/ブ レーキユニット含む	1
16	ブレーキユニット(L)	PN-L7010115P	1	3,450		1
17	ブレーキユニット(R)	PN-L7010116P	1	3,450		1
18	スリーブ(L)	PN-L7010117P	1	1,100		1
19	スリーブ(R)	PN-L7010118P	1	1,100		1
20	ブレーキワイヤー	PN-L7010119P	1	1,000	L/R共通	2
21	前輪	PN-L7010120P	1	1,650	L/R共通	2
22	後輪	PN-L7010121P	1	1,650	L/R共通	2
23	前輪軸セット(L)	PN-L7010122P	1	2,600		1
24	前輪軸セット(R)	PN-L7010123P	1	2,600		1
25	後輪固定部品セット	PN-L7010124P	1	800	L/R共通	2
26	ブレーキワイヤー固定部品セット	PN-L7010128P	1	1,100	L/R共通	2
27	後輪ブレーキバネ	PN-L7010130P	1	1,100	L/R共通	2
28	杖ホルダーセット	PN-L7010125P	1	850		1
29	杖固定バンド	PN-L7010126P	1	950		1
30	座面保持面ファスナー	PN-L7010129P	1	1,000	L/R共通	2
31	折りたたみヒモセット	PN-L7010127P	1	1,250		1
32	リンクユニット	PN-L7010132P	1	5,500		1
33	Panasonic ロゴラベル	PN-L7010191P	1	450		1
34	モノロゴラベル	PN-L7010192P	1	500		1
35	ブレーキレバーラベル(L)	PN-L7010193P	1	600		1
36	ブレーキレバーラベル(R)	PN-L7010194P	1	600		1
37	反射ラベル	PN-L7010195P	1	450	L/R共通	2
38	外装箱	PN-L7010196P	1	3,000		1
39	補修用塗料(タッチペン)	PN-L7020197P	1	3,500		—
40	補修用塗料(スプレー)	PN-L7020198P	1	3,000		—

※2026年10月現在の価格です。

ご注文の際は、サービスガイドより最新のものを確認してください。

パナソニック エイジフリー 株式会社
〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地